

サラリーマン世帯の主婦500名に聞く「2013年冬のボーナスと家計の実態調査」<Part1>

冬のボーナス平均手取額は66.8万円(昨冬比+4.7万円)

ボーナスの今後の見通し、調査開始以降“増える”が“減る(+なくなると思う)”を初めて上回る

ボーナスから夫に渡した小遣いの額は平均9.2万円(昨冬比-2.0万円)

臨時ボーナスをあげたい人は「田中将大」「堺雅人」「浅田真央」

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社(社長:山本 学)は、全国の20~50代のサラリーマン世帯の主婦500名(各年代毎125名 平均年齢39.7歳)を対象に、「2013年冬のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2013年12月7日(土)~10日(火)に実施いたしました。

なお、今回の<Part1>では、冬のボーナスに関する項目についてご報告いたします。例年発表している「主婦のへそくり」など家計の実態に関する調査結果は、1月中旬に<Part2>として報道発表させていただく予定です。

今冬は、ボーナス平均手取額が66.8万円と、昨冬の平均手取額から4.7万円増加し、過去5年間の最高額となりました。アベノミクス効果がようやくサラリーマン世帯にも反映され始めた様子がうかがえます。さらに、ボーナスの今後の見通しについて聞いたところ、調査開始以降初めて「増える」と思うが「減る(+なくなると思う)」を上回る結果となり、主婦目線でも明るい兆しを感じている傾向が強いようです。

その一方で、ボーナスの中から夫に小遣いを渡した人の平均額は昨冬の11.2万円から9.2万円と2.0万円減り、見通しは明るいものの、家計の緊縮傾向は継続している様子がうかがえました。

第27回損保ジャパンDIY生命アンケート「2013年冬のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は以下となります。

《「2013年冬のボーナスと家計の実態調査」の主な結果》

<2013年冬のボーナス>

- 冬のボーナス「増えた」は36.4%、「減った」は21.6%。平均手取額は66.8万円(昨冬比+4.7万円)。
- 冬のボーナスの今後の見通しは、「増えると思う」(29.8%)が「減る+なくなると思う」(26.6%)を調査開始以降初めて上回る。
- ボーナスの使い道トップは「預貯金」(76.2%)が突出して高い割合。一方で、第4位に「チラシ」(22.4%)がランクインするなど、消費項目の割合も増加している。
- ボーナスから夫に渡した小遣いは平均9.2万円とやや減少も、「渡す」主婦は増加(49.6%→53.4%)。
- この冬臨時ボーナスをあげたい人は「田中将大」「堺雅人」「浅田真央」らがランクイン。

【本件に関するお問い合わせ先】

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社

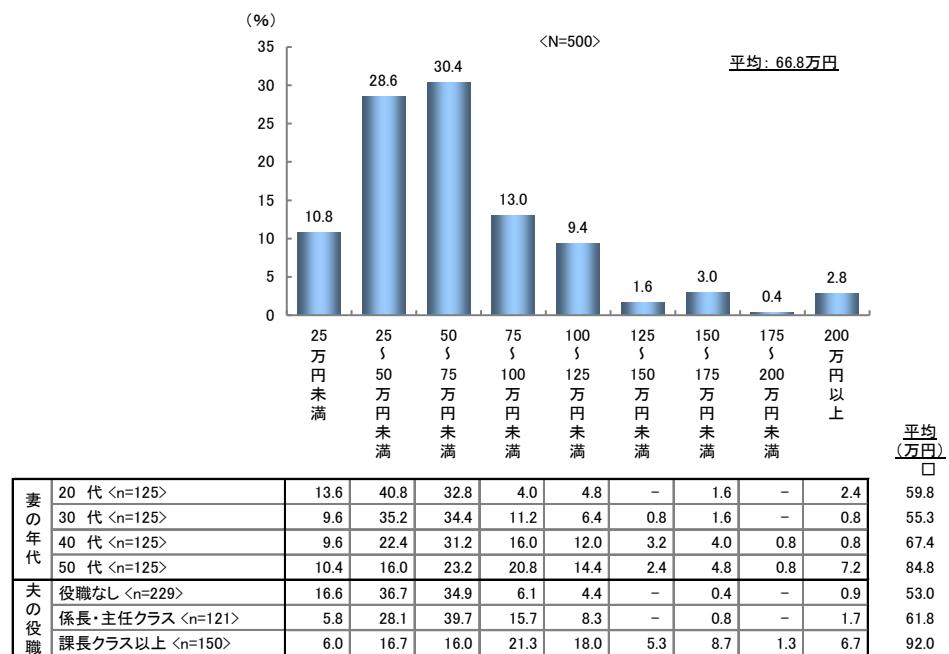
広報グループ：植松・高月 TEL：03-5437-9026

《2013年冬のボーナス》 ※「昨冬」は2012年冬を指します

この冬のボーナス平均手取額は「66.8万円」。昨冬と比べて4.7万円増。

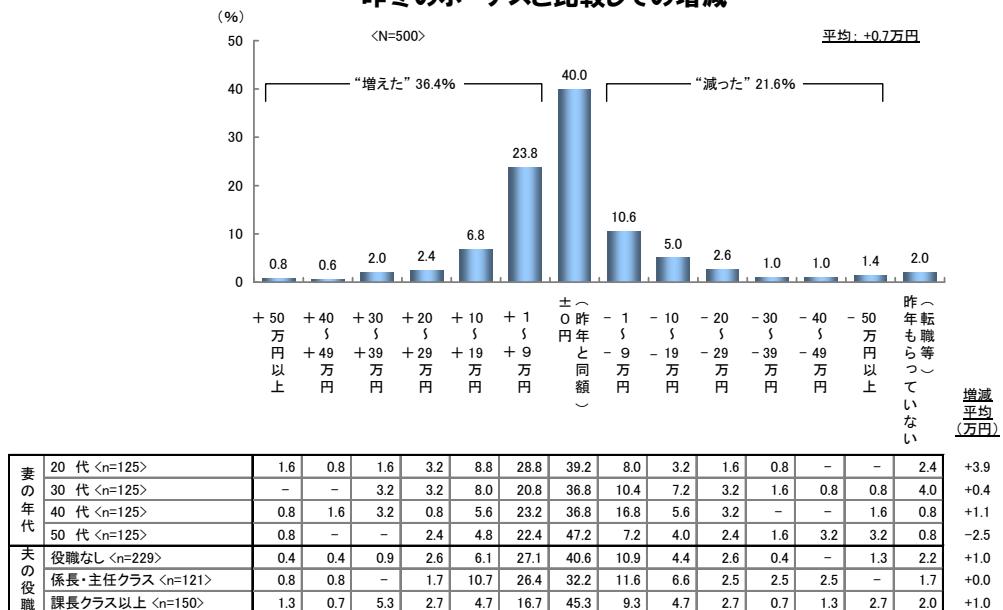
昨冬との比較では、「増えた」(36.4%)が「減った」(21.6%)を上回り、増減平均金額は「+0.7万円」。

2013年冬のボーナス手取額



この冬のボーナスの手取り額を伺ったところ、「50～75万円未満」(30.4%)、「25～50万円未満」(28.6%)が3割前後で多く、「25～75万円未満」との回答が6割近く(59.0%)を占めています。平均手取額は、昨冬よりも4.7万円増加の「66.8万円」となり、アベノミクス効果がようやくサラリーマン世帯にも反映され始めた様子がうかがえます。

昨冬のボーナスと比較しての増減

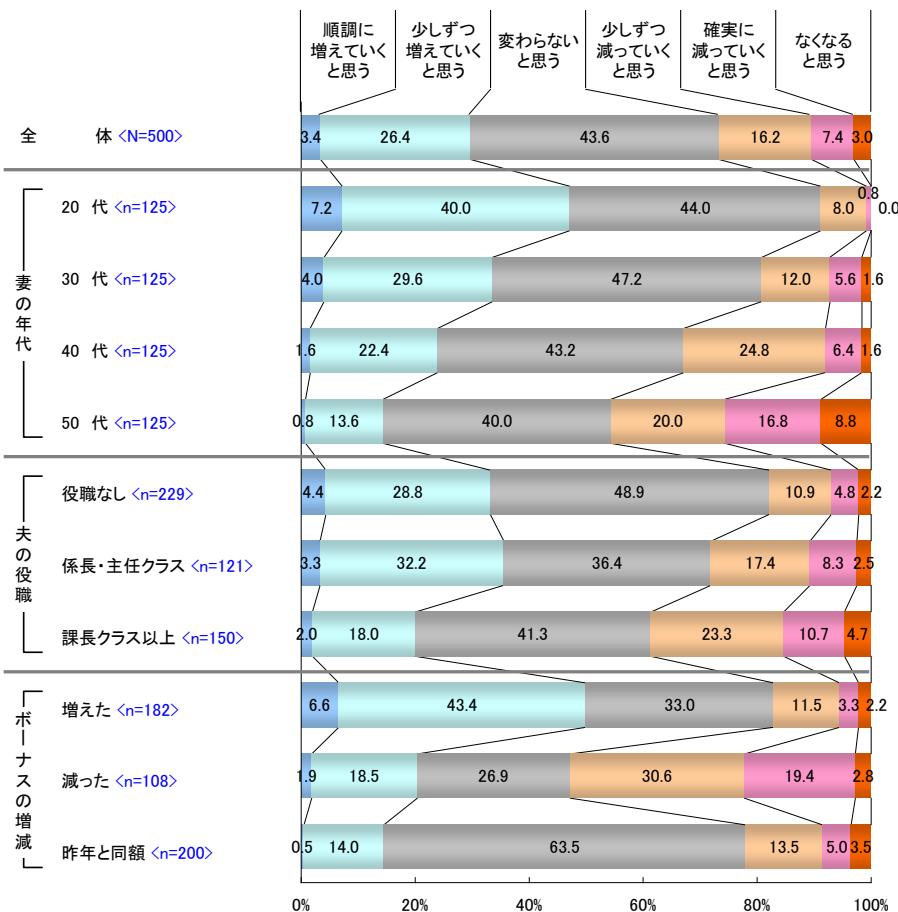


昨冬のボーナスと比較すると、ボーナスが“増えた”(36.4%)という人は全体の3分の1以上を占めており、“減った”(21.6%)という人を15ポイント近く上回っています。増減の平均額も「+0.7万円」とわずかながら増加傾向となっており、昨年までの減少傾向から一転して増加傾向が見え始めています。

《ボーナスの今後の見通し》

“増えていく”(29.8%)という楽観的な見通しが、“減っていく+なくなる”(26.6%)という悲観的な見通しをやや上回る。

ボーナスの今後の見通し



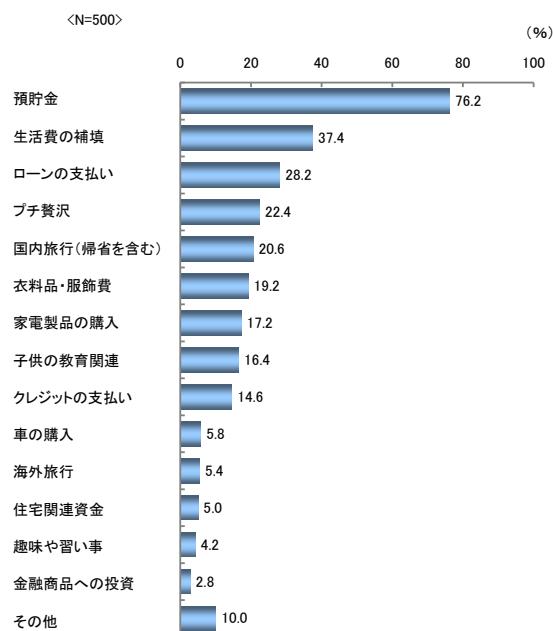
今後の夫のボーナスの見通しについて聞いたところ、「変わらないと思う」(43.6%)との回答が4割強を占めて多くなっていますが、“増えていく”(29.8%)という楽観的な見通しは約3割であり、“減っていく+なくなる”(26.6%)という悲観的な見通しをわずかに上回っています。

《ボーナスの使い道》

ボーナスの使い道は「預貯金」(76.2%)でトップ。

ボーナス総額のうち各用途別の割合を聞いたところ、「預貯金」(43.9%)は4割超を占める。

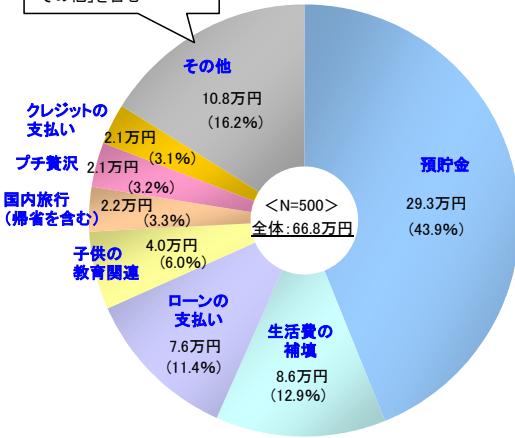
この冬のボーナスの主な使い道(複数回答)



ボーナスの主な使い道の総額に占める割合

(この冬のボーナス平均手取り額 66.8 万円を総額とし、金額に換算)

「家電製品の購入」「衣料品・服飾費」「車の購入」「海外旅行」「住宅関連資金」「金融商品への投資」「趣味や習い事」「その他」を含む



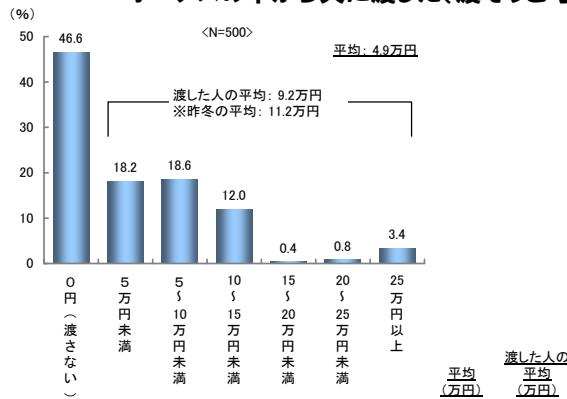
ボーナスの主な使い道には、「預貯金」(76.2%)をあげる人が7割超になり、次いで「生活費の補填」(37.4%)、「ローンの支払い」(28.2%)と続きます。昨冬との比較では「預貯金」(69.0%→76.2%)のほか、「プチ贅沢」(19.4%→22.4%)、「国内旅行(帰省を含む)」(17.6%→20.6%)、「家電製品の購入」(15.4%→17.2%)などの消費項目に関しても増加しているものが多くなっています。先にみたようにボーナスの支給額の増加により、使い道は節約から消費の方向に動いていると言えそうです。

《ボーナスの中から夫に渡した小遣いの額》

「0円(渡さない)」(46.6%)は半数近く。

渡した人の平均金額は「9.2万円」と昨冬の「11.2万円」から2.0万円の減少。

ボーナスの中から夫に渡した(渡そうと考えている)小遣いの額



妻の年代	20代 <n=125>	21.6	18.4	7.2	-	0.8	5.6
20代 <n=125>	46.4	21.6	18.4	7.2	-	0.8	5.6
30代 <n=125>	52.8	16.0	18.4	9.6	-	0.8	2.4
40代 <n=125>	47.2	18.4	15.2	14.4	1.6	-	3.2
50代 <n=125>	40.0	16.8	22.4	16.8	-	1.6	2.4
50万円未満 <n=197>	56.9	27.9	11.2	1.5	-	-	2.5
50~100万円未満 <n=217>	35.9	14.7	28.1	17.1	0.9	0.9	2.3
100万円以上 <n=86>	50.0	4.7	11.6	23.3	-	2.3	8.1

	平均(万円)	渡した人の平均(万円)
40代	4.6	8.6
50代	3.9	8.3
60代	5.4	10.2
70代	5.7	9.5
80代	2.4	5.5
90代	4.8	7.5
100代	11.0	22.0

今回のボーナスの中から、夫に小遣いとして渡した、あるいは渡そうと思っている金額を聞いたところ、「0円(渡さない)」は昨冬からやや減少しましたが、渡した人の平均額が「11.2万円」→「9.2万円」とやや減少しました。

ボーナスが増加し、今後の見通しもやや明るく感じている一方で、引き締めるところは引き締める姿がうかがえます。

《臨時ボーナスをあげたい人とその金額》

芸能界では「堺雅人」(39 件)、スポーツ界は「田中将大」(117 件)、その他の分野からは「ふなっしー」(13 件) が 1 位に。

渡したいボーナス金額(平均) は「田中将大」(1,419 万円) がトップ。

臨時ボーナスをあげたい人

芸能界		
順位		件数
1	堺雅人	39
2	能年玲奈	12
3	嵐	9
4	有吉弘行	6
	滝川クリステル	6
6	タモリ	5
7	イモトアヤコ	4
	壇蜜	4
	その他	50

平均金額 (万円)	最高額 (万円)	□
385	5,000	
407	3,000	
114	500	
235	1,000	
583	1,000	
82	100	
100	200	
76	100	
427	10,000	

スポーツ界		
順位		件数
1	田中将大	117
2	浅田真央	22
3	羽生結弦	10
4	白井健三	4
	その他	38

平均金額 (万円)	最高額 (万円)	□
1,419	30,000	
501	5,000	
297	1,000	
53	100	
703	10,000	

その他		
順位		件数
1	ふなっしー	13
2	安倍晋三	7
3	林修	5
	その他	25

総合ランキング(票数)

順位		得票数
1	田中将大	117
2	堺雅人	39
3	浅田真央	22
4	ふなっしー	13
5	能年玲奈	12
6	羽生結弦	10
7	嵐	9
8	安倍晋三	7
9	有吉弘行	6
	滝川クリステル	6

総合ランキング(金額)

順位		平均金額 (万円)
1	田中将大	1,419
2	林修	1,064
3	滝川クリステル	583
4	浅田真央	501
5	能年玲奈	407
6	堺雅人	385
7	安倍晋三	323
8	羽生結弦	297
9	有吉弘行	235
10	嵐	114

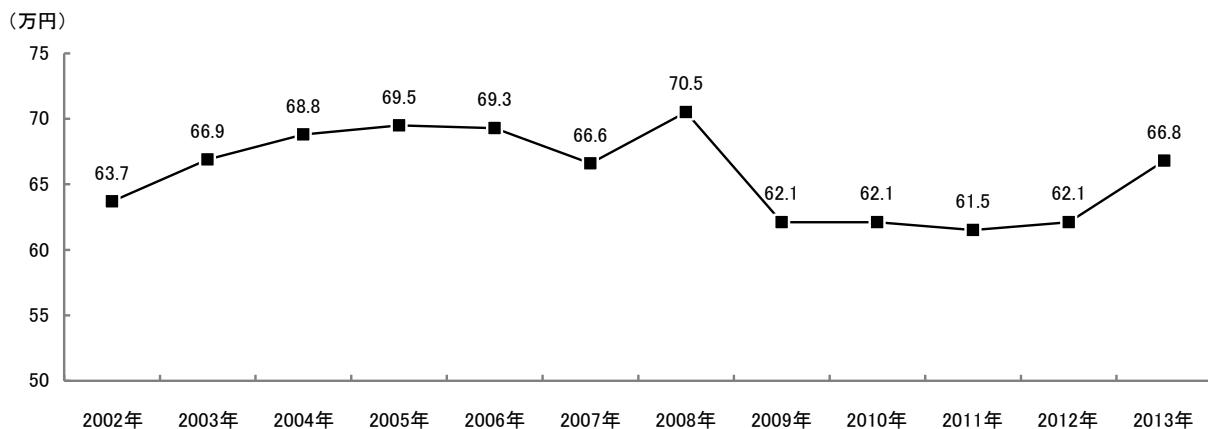
臨時ボーナスをあげたい人を聞いたところ、最も多くの票を獲得したのは、プロ野球で日本シリーズを制した楽天のエース「田中将大」(117 件) でした。

また、2013 年流行語大賞を獲得した 4 名 (堺雅人、能年玲奈、滝川クリステル、林修) がそれぞれの部門でいずれもランクインしているのが印象的です。

【参考】サラリーマン世帯の主婦に聞く『冬のボーナスと家計の実態調査』過去推移

年	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			夫の小遣い		臨時ボーナスを あげたい人 (最多回答)
	平均 手取り (万円)	増えた	減った	増える	減る+なく なると思う	変わら ない	渡した人 の平均 (万円)	小遣い なしの 割合	
2003	66.9	24.2%	53.0%	28.4%	39.4%	22.4%	5.3	19.0%	松井秀喜
2004	68.8	37.6%	30.8%						イチロー
2005	69.5	39.4%	26.0%						レイザーラモンHG
2006	69.3	40.8%	21.6%				8.8	27.6%	新庄剛志
2007	66.6	36.8%	24.2%				7.4	19.0%	小島よしお
2008	70.5	29.0%	34.6%	21.2%	49.6%	29.2%	11.1	37.4%	石川遼
2009	62.1	20.4%	53.8%	23.4%	41.0%	35.6%	7.3	47.4%	石川遼
2010	62.1	33.8%	31.4%	29.6%	33.8%	36.6%	6.9	42.0%	石川遼
2011	61.5	31.8%	29.2%	30.2%	31.2%	38.6%	7.4	46.2%	なでしこジャパン
2012	62.1	28.8%	32.6%	23.6%	33.8%	42.6%	11.2	50.4%	スギちゃん
2013	66.8	36.4%	21.6%	29.8%	26.6%	43.6%	9.2	46.6%	田中将大

■冬のボーナスの手取り額 (平均手取り額の経年推移)



年	主な使い道											
	1位		金額 換算	2位		金額 換算	3位		金額 換算	4位		金額 換算
2003												
2004	預貯金など貯蓄	53.4%		生活費の補填	40.8%		ローン・クレジットの支払い	39.8%		国内旅行・帰省	23.8%	
2005	預貯金など貯蓄	55.2%		生活費の補填	34.6%		ローン・クレジットの支払い	33.0%		国内旅行・帰省	25.8%	
2006	預貯金など貯蓄	54.8%		ローン・クレジットの支払い	34.8%		生活費の補填	30.8%		衣料品・服飾費	22.0%	
2007	預貯金など貯蓄	60.6%		ローン・クレジットの支払い	32.2%		生活費の補填	30.6%		衣料品・服飾費	23.6%	
2008	預貯金など貯蓄	64.2%		生活費の補填	37.4%		ローン・クレジットの支払い	36.0%		家電製品の購入	19.6%	
2009	預貯金など貯蓄	68.0%	23.6万円	生活費の補填	47.2%	8.1万円	ローンの支払い	33.8%	9.3万円	国内旅行・帰省	21.4%	2.5万円
2010	預貯金など貯蓄	70.6%	22.4万円	生活費の補填	43.6%	8.1万円	ローンの支払い	32.2%	8.7万円	プチ贅沢	25.4%	1.9万円
2011	預貯金など貯蓄	75.0%	25.2万円	生活費の補填	44.6%	9.1万円	ローンの支払い	30.4%	8.2万円	衣料品・服飾費	21.6%	1.7万円
2012	預貯金など貯蓄	69.0%	24.8万円	生活費の補填	42.4%	8.9万円	ローンの支払い	29.8%	8.3万円	衣料品・服飾費	19.8%	
2013	預貯金など貯蓄	76.2%	29.3万円	生活費の補填	37.4%	8.6万円	ローンの支払い	28.2%	7.6万円	プチ贅沢	22.4%	2.1万円

注:主な使い道に関する質問は09年冬より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割